

Staff Blog



スタッフブログ

（スタッフブログ）

プチ自由研究

ふと思い立って…

以前の職場で担当していた動物は毎日飲水量を確認していましたが、こっちに来てからはまったく気にしていませんでした。

先日、当園で飼育しているシマウマ、キララは1日にいったいどのくらいの量を飲んでいるのか気になりました。

世間はちょうど夏休み（観察期間中は夏休みでした…）。知り合いの子供たちも夏休みの宿題や制作を頑張っていたようなので、わたしも個人的な夏の自由研究として観察することにしました。

仮説をたてる！

まずは仮説をたてました。

1. 某浄水器メーカーによると、健康な成人は最低限、体重1キログラムにつき約35mlの水分が必要だそう。以前の確認では250kgほどある草食動物は1日に10L以上飲んでいたので、それを参考にするると300kg以上あるキララは最低10.5L、少し多く見て11Lぐらい必要である。
2. 皆さんも暑い日には水分をよく取りますね。シマウマもそうではないか？天気によって飲水量は変化する。

確認すること

ふわっとしていますが、以上の仮説を証明するために確認したのは3点（休みの都合上、出勤日に確認できるものにしました。）

1. 天気
2. 昨日の夕方からの飲水量
3. 午前中の飲水量

4. 午後の飲水量



結果、考察

	8月 11 日	13 日	17 日	18日	19 日	20 日	24 日	29 日
天気	晴	雨	雨	曇り 時々晴	晴	曇	晴	曇
昨日 ～朝	7	7	10	4	4	4	8	11
AM	7	7	7	7	9	9	7	3
PM	4	6	0	3	6	4	5	10
合計 飲水 量	18	20	17	14	19	17	20	24

この少ないデータで何が言える！？とおっしゃられる方がいるのは重々承知です。
データがあればあるだけ正確な結果に近付けますが、今回は見逃してください。

さて、この少ないデータを表にして分かることは、1日の平均飲水量は18.5L。1の仮説とは
少し離れた数字が出ました。

天気によって変わる、という仮説は証明できませんでした。雨の日でも飲む日は飲む。これ
を見る限り、天気によって飲水量が変わるとは言えない。

というわけで、今回の結果。

キララの8月における1日の平均飲水量は約18.5L。天気による飲水量の変化はない。
今後調べていけば、季節による変化、天気による変化があるかもしれないし、天気よりも気

温との関連や運動量による違いもあるかもしれません。

気づいたこと。

さて、観察中に気づいたことがいくつか。

1回ゴクンとする時にどれくらい飲んでいるのかな〜と思って観察していましたが、作業をしながらだとなかなか難しい…。

1度だけ確認出来た際には大体8ゴクゴクで約2L。ということは1ゴクリで250ml。（あくまで目視なので正確ではありません。）

人で大体平均20mlらしいので、約12倍。人と比べてもしょうがないかもしれませんが、すごいですね。



また、朝のエサを食べ始めてから約1時間後ぐらいに2〜3L飲んでいるのが確認できました。飲むときはいつも鼻先で水面を撫でるようにして確認？してから飲み始めます。

1日の平均飲水回数は2〜3回（AM1〜2回、PM1回）。

普段のキララを見ていると、朝のうちに何かに驚いたりすると午前中は落ち着きがなくなり水を飲まないことも。

だからか、午後になって落ち着くとすごい勢いで水を飲み干す時も。

よくよく観察していると、不思議だな、面白いなと思うことがたくさんあります。時間があれば、涼しくなったころにまたこの自由研究を再開してみようと思います。

ところ

2021年8月27日

代番者から見るキリン、クルミの成長

担当者、代番者という言葉は飼育員はよく使います。

各々の飼育員に担当の動物がいて、お休みの日は組んでいる相方、「代番者」に自分の担当動物をお願いします。

当然、相方がお休みの日は、自分が相方の担当動物をみるわけです。

私の場合はシマウマ、ポニー、ホロホロチョウが担当で、
代番者がお休みの時はキリン、レッサーパンダも一緒にみます。

さて、8月も終わりに近付き、わたしもかみね動物園歴満2年になろうとしています。
そのタイミングで代番者が換わることになり、代番動物も変わるので、
なかなかお伝えできていないキリン、クルミの成長を、代番動物が変わる前に一緒に振り返れたらな、と思います。

代番者からみるキリン、クルミ

9月30日。

その日は代番の日で、担当者はお休みでした。

朝から落ち着かない母親キリナ。

いつもと様子が違うな〜と思いながらも、外に出られないのもストレスかなと思い、扉を開けて展示場に出てもらいました。

その間に掃除を済ませ、展示場を見ると、やっぱりいつもと違う。開園中だし、外で出産されてもなぁ…と思い、戻ってきてもらう時間ではないけれど部屋の扉を開けてみたところ、すんなり戻ってきました。

その後、正午前には前肢が出てきていて、そのまま問題なく生まれてきてくれました。

キリナはこれで第3子目の出産。慣れた手つき？足つき？でクルミを起きるように促していて、安心しました。



起立できるようになってすぐの写真。頭の位置がキリナの肩ぐらいの大きさです。



まだ角が立っていません。



10日ほど経つと、角もしっかり立って、葉っぱに興味を示し始めました。

深く接する機会は1週間に2～3日だけ。

キリン舎に入るたびに大きくなったなぁと感じてもいいはずですが、見降ろされる角度が変わったかな…と感じる程度。

今でこそ、いつの間にそんなに大きくなった？と思うくらい大きくなりましたが、なかなか成長を感じるのは難しいですね。

親と一緒に並んで撮った写真をみると成長の具合がよく分かります。



2020年10月14日（生後14日）



2021年7月20日（約10か月）



2020年10月24日（生後24日）



2021年6月29日（約9か月）

桐生が岡動物園に行ったルリカと違い、なんにでも興味津々、おてんば娘といった印象。朝も朝ご飯より制服やわたしの手指が気になる。日中、エサを補充しに行けば、制服をひっぱり、鍵を引っ張り、無線機を引っ張り…。こちらも取られないように必死です。なんでも口に入れたいお年頃？

キリンの周りに行くと必ずといっていいほど近づいてきてちょっかいを出してきます。最近はマスクやポニーテールに興味があるようです。

そんなクルミですが、顔周りや首、足回りを触っても動じないので、今後、採血トレーニングや健康診断をする際には協力してくれそうです。期待大！

先日、久しぶりに、上のテラスに枝をくくってみました。



大人たちは余裕で食べられる高さですが、クルミはまだまだ。人間からすると大きいけれど、キリンからするとやっぱり小さいんだなと改めて感じました。



閉園が長引き、クルミの成長を生で見ていただくことが出来ないのがとても歯がゆいのですが、ぜひ開園した際には少しでも大人になったクルミに会いに来てください。最近は顔つきも大人っぽくなりましたよ！

9月30日、1歳の誕生日が無事に迎えられるように、そして願わくは誕生日には開園していて、誕生日の喜びを来園してくれた方々と共有できるように。

代番の動物は変わりますが、皆さんと一緒にクルミの成長を見ていけたらなと思います！



ところ

2021年8月27日

おうちで夜ZOO

皆さん、こんにちは。

暑い日がまだ続いておりますが、体調など崩されておられませんか？

今年の夜の動物園は、コロナウイルス感染拡大防止のために茨城県にまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が適応され、残念ながら、昨年に続き中止となってしまいました。

しかし、何もしないのでは楽しみにしていた方々に申し訳ないということで、SNS（facebookやtwitter）を使って、題して“おうちで夜ZOO”という企画を催しました。

SNS上で過去の夜の動物園の様子を紹介するとともに、皆さんにも、#おうちで夜ZOOとタグ付けしていただき、過去の夜の動物園の様子をSNS上に投稿してもらうイベントです。

担当者の私は、動物園に来て2年目なので夜の動物園を体験したことはありません。

しかし、過去の写真や投稿していただいた写真を拝見し、雰囲気を感じることが出来ました。

来年こそは、開催したいですね！！

投稿していただいた、皆様ありがとうございました！

まだ、見ていないよ。という方々、#おうちで夜ZOOで検索してみてください！

色んな写真が見られるかも？



夜になると活発になるアライグマと花火大会



夜のエゾヒグマ。暗闇に光る瞳。夜の動物園ならではのですね。

2021年8月22日

健康診断

健康診断

健康診断といえば、毎年行うのが当たり前と思う方が多いのではないのでしょうか？かく言う、私も毎年受けています。でも、動物たちはどうでしょう。毎年、受けていると思いますか？

動物たちの健康診断といえば、どんなことをやっていると思いますか？



(チンパンジーのエコー検査)

基本的には、人間と同じなのですが、毎年となると難しい場合もあります。それは、人間とは違って協力してくれることはなく、激しく抵抗するからです。そのため、健康診断をするには麻酔をかけなければならず、頻繁に麻酔をかけるのは動物への負担が大きいからです。

また、なんの異常もない動物に麻酔をかけるのは抵抗があります。それに、検査機器が高額なため予算がつかず、買えないなどお金がかかるため、検査ができませんでした。



(ベンガルトラのレントゲン撮影)

最近の健康診断事情

でも、最近の健康診断事情は違います。たとえ健康に見える元気な動物も、健康であるとは言えない！となっています。それは、検査機器の発展がめまぐるしく、調べると病気が見つかったりするためです。人間でいうとガンなどがそれにあたるのではないのでしょうか？

なので、健康診断のために麻酔もいとわない。むしろ、麻酔技術を上げ、危険がないようにするべきである。また、ハズバンダリートレーニングを取り入れ、麻酔をかけなくてもできるようにして、健康診断を実施するべきだとなっています。



(シマウマのトレーニング)



(ロバのトレーニング)

ただし、麻酔技術が向上しても、何が起こるかわからないなど少なからず危険がともないます。トレーニングも個体によってはできますが、個体によっては全くできない場合もあり

ます。検査機器は高価であり、多少はそろってきていますが、まだまだ必要な機器があります。

今年度は、血球計数機と麻酔モニターの下記2機種を購入できました。血球計数機により、今まで外部の検査機関に検査をお願いしていたものが、当園で実施できることとなりました。採血後、速やかに行わなければならない検査のため、よりスピーディーに実施することが可能となりました。また、麻酔モニターにより、麻酔中の動物の状態をより正確に把握できることとなり、より安全な麻酔が可能になります。



（血球計数機）



（麻酔モニター）

まだまだ課題もありますが、こうした検査機器をそろえながらこれからは定期的に健康診断ができるように、努めていきたいと思います。

（みんなに笑われるのを楽しんでる獣医の飯田）

2021年8月20日

「身近な生き物展」改め、「幻の企画展」

「身近な生き物展」改め、「幻の企画展」

毎年恒例の夏の企画展、その名も「身近な生き物展」。

昨年は新型コロナウイルス感染症予防対策のためイベントが中止となり今年も開催できるかどうか不安な中準備を進めてまいりましたが、なんとか開催することができました！しかし、喜びも束の間、数日後には休園となり今年の身近な生き物展は8/1～8/5の五日間だけの開催、言うなれば「幻の企画展」となってしまいました。



<休園後の様子。物悲しさを感じます…。>

せっかく準備したのに、悲しい！悔しい！そして、もったいない！！

ということで、今年の夏の企画展を楽しみにしていた来園者のためにも、また、中止になりやりきれない気持ちでいっぱいの方々のためにも、本来であれば8月中開催しているはずだった「身近な生き物展」の様子をこの場を借りてご紹介したいと思います。

皆の人気者！カブトムシ&クワガタムシ

カブトムシのオープン展示は毎年人気を博しており、子どもも大人も夢中になって観察する姿がみられます。間近にみるカブトムシの姿は迫力満点です！！



<カーテンをめくると、、、そこはカブトムシの国でした。>

クワガタムシはミヤマクワガタ、ノコギリクワガタ、コクワガタの3種を紹介。その横では楽しそうに昆虫採集している職員の様子が動画で流れていました。



<見た人は分かる、とっても賑やかで楽しい動画です>



＜左からミヤマクワガタ、ノコギリクワガタ、コクワガタ、分かったかな？＞

身近な生き物大集合コーナー

職員が動物園や日立市内のどこかで見つけた身近な生き物たちを展示していました。せっかくなのでたくさん紹介します。



＜アリジゴク、巣穴にいるため姿は見えませんが、意外と人気。ゾウ舎の裏の砂地にいました。＞



＜幻のヘビ、シロマダラ。飼育担当の獣医いわく、夜行性のため見つけにくいけど、実は身近にいる…らしい。＞



<漆黒のオオゴキブリ&光沢がきれいなアオオサムシ>



<自慢のカマ（前あし）で獲物をしとめる！オオカマキリ>



<ニホンアマガエルとアズマヒキガエル、同じカエルでも大きさの違いにビックリ！二種ともサイのグラウンドにいました>



<獣医室の近くにいたオオヒラタシデムシ、左が成虫、右が幼虫です。>



＜おしりに空気をため呼吸するゲンゴロウ、管を水面に出し呼吸するミズカマキリ＞



＜間違われやすいカナヘビとトカゲ。体がザラザラしているのがカナヘビ（左）、つるつるしているのがトカゲ（右）＞

いかがでしょう？全部とはいかずとも、いくつか見たことのある生き物もいたのではないのでしょうか？

また、企画展開催中にちょうど動物園実習を受けていた実習生にも生き物展に参戦してもらいました。完成したのが休園中だったため残念ながらお見せすることが出来ませんでした
が、とても素敵な展示&掲示物が出来上がりました。



＜ドジョウの腸呼吸について四コマ漫画で紹介＞



<初めてみると思わずギョッとするフナムシ、その特徴について紹介しています！>

生き物を身近に感じよう！

あなたの身近にはどんな生き物いるのかな？その生き物にはどんな特徴があるのかな？知ってそうで知らない生き物たちの不思議に興味を持ってほしい！もっと知ってほしい！そんな思いから「探索・捕獲・飼育・観察」までの方法を紹介するコーナーを設けました。



<まずは探索！生き物によって活動時間や好む場所に違いがあること、知っていたかな？>



<生き物を見つけたら捕まえてみよう！自ら動き探すこともあれば、トラップを仕掛けることで捕まえる方法もあります。トラップの見本と作り方も用意していたのに…！>



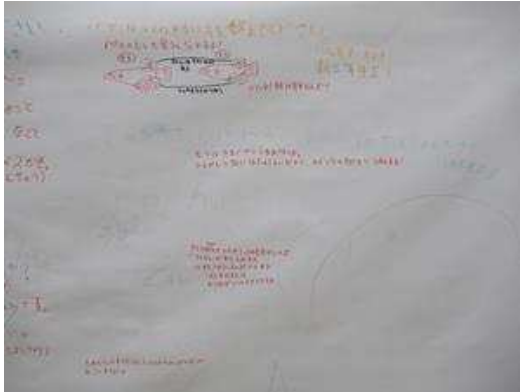
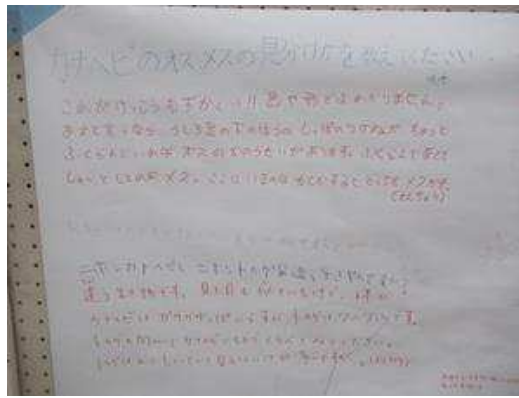
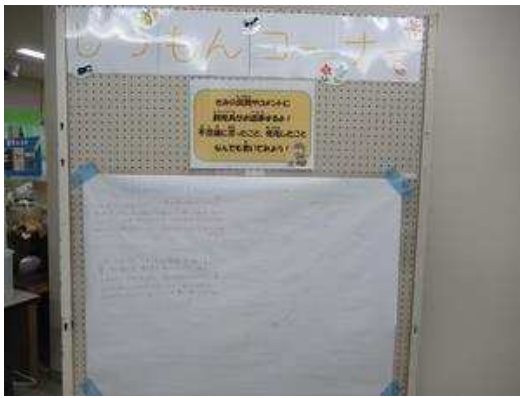
<動物園の事務職員がトカゲとカナヘビのたまごの飼育にトライ！その様子を飼育日記にまとめ、休園後も更新していました。カナヘビは無事孵化しました～！>



<生き物をより深く知るには観察が大切です。スケッチをすると細かいところまで観察する力がつき、より多くの発見につながります。飼育員も久々にスケッチしてみました。新たな発見はあったのかな…？>

質問コーナー

誰もが自由に書ける質問コーナー。ちょこっと質問があったので、ご回答。



＜毎年たくさん質問があるので今年もたくさん来るぞ～と意気込んでいましたが、、来年こそリベンジ！！＞

「身近な生き物」改め、「幻の企画展」は以上となります！楽しんでいただけましたか？

本来であれば目の前で生き物が動く姿をみながら「こんな生き物が身近にいるのか！」と感じて頂きたかったのですが、残念ながらブログでの紹介となってしまいました。来年こそはたくさんの皆さまにご参加いただけるよう、めげることなく準備を進めていきたいと思います。長くなりましたが、最後までお付き合いいただきありがとうございました。



＜来年をお楽しみに！＞

2021年8月20日

第45回サマースクールを開催しました。

皆さま、こんにちは。

暑い日が続いておりますが、体調など崩してありませんか？

さて、日立市かみね動物園では、7/26-27日にかけて第45回サマースクールを実施いたしました。

2日間で約90人小学生の皆さまに参加していただきました。

27日は天気が心配でしたが、何とか開催することができました。

まずは、生江園長によるあいさつが行われ、担当する飼育員たちの紹介を行い、その後各学年（2年生、3年生、4年生、4、5年生）に分かれて、それぞれで活動を行いました。



（園長の話をしっかりと聞いています。）

各学年では

動物について、観察や動物の世話（掃除やご飯作りなど）についてのレクチャーを受けて活動を行いました。

3年生では、爬虫類の体や食事の観察を行いました。



（しっかりと観察をしています。）



（観察したことをメモします。）

他の学年では、展示場の掃除や整備を行ったり、動物の食事を作ったりと様々な活動を行いました。



(5、6年生はサイ舎の砂入れを体験しました。)

そして最後に、修了書を受け取り、終了しました。



参加された皆様、いかがでしたか？

そして、参加したいなと思った皆さん、サマースクールは毎年開催するので、是非とも来年度以降の参加をお待ちしています！

まだまだ、暑い日が続きます、園長の言葉にあったように、たくさん遊んで楽しい夏休みをお過ごしください！

2021年8月3日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

令和3年

[令和3年12月](#)

[令和3年11月](#)

[令和3年10月](#)

[令和3年9月](#)